

トヨタは、「トータルクリーン」をめざしています。

「トータルクリーン」を基本理念に、環境に配慮したクルマづくりを進めています。生産から廃棄にいたるトータルライフの視点により、環境への取り組みのひとつひとつをすべての過程で連携させ、クリーンなクルマづくりをめざします。さまざまな環境目標を、バランスを取りながら達成し、総合的に環境性能の向上を図ります。



地球温暖化対策を実施しています。

- 温室効果ガスであるCO<sub>2</sub>排出量の低減をめざして、軽量・高効率なエンジンを搭載。さらにハイブリッドシステム、Super CVT-i(自動無段変速機)などの採用により、低燃費を達成しています。
- エアコンの冷媒充填量を低減。さらに、冷媒にオゾン層を破壊しない代替フロンHFC-134aを採用しています。

都市環境のクリーン化に配慮しています。

- 三元触媒、空燃比補償装置などの採用により、排出ガスのクリーン化を推進。その結果、ハイブリッド車は「平成30年基準排出ガス75%低減レベル」、ガソリン車は「平成17年基準排出ガス75%低減レベル」の認定を国土交通省より取得しています。



VOC<sup>\*2</sup>を低減しています。



- 内装部品の素材、加工法、接着剤の見直しにより、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエンなどの揮発性有機化合物(VOC)の発生量を抑制。車室内の臭いや刺激臭を軽減するとともに、厚生労働省が定めている「室内濃度指針値」を下回るレベルとし、業界自主目標を達成。車室内空気質の快適性に配慮しました。

環境負荷物質を削減しています。

- 鉛、水銀、カドミウム、六価クロムを削減し、業界自主目標を達成しています。

\*1. Eco-VAS[エコバス]:Eco-Vehicle Assessment System。車両開発責任者が企画段階で生産、使用、廃棄にいたるLCA(ライフサイクルアセスメント)の考え方を踏まえた環境目標値を設定。全開発プロセスを通じて目標達成状況をフォローして、確実な達成を図る総合的な環境評価システムです。  
\*2.VOC:Volatile Organic Compounds

トヨタ サクシード 環境仕様

車両型式			6AE-NHP160V		DBE-NCP160V		DBE-NCP165V	
エンジン			総排気量	L	1.496			
駆動装置			駆動方式		前輪駆動方式			四輪駆動方式
			変速機		電気式無段変速機			CVT(自動無段変速機)
車両重量			1,160		1,090			1,170
燃料消費率		燃料消費率*1(国土交通省審査値) km/L	22.6		—			
		CO2排出量 g/km	103		—			
		燃料消費率*1(国土交通省審査値) km/L	27.8		19.6	18.2		15.8
		CO2排出量 g/km	84		118	128		147
参考			「平成27年度燃費基準*2」をクリアしています。					
主要燃費改善対策			ハイブリッドシステム、電気式無段変速機、 充電制御、可変バルブタイミング、 電子制御式燃料噴射、電動パワーステアリング、 アイドリングストップ装置		自動無段変速機、充電制御、 可変バルブタイミング、 電子制御式燃料噴射、電動パワーステアリング、 アイドリングストップ装置		自動無段変速機、充電制御、 可変バルブタイミング、 電子制御式燃料噴射、 電動パワーステアリング	
排出ガス 適合規制または認定レベル(国土交通省)			平成30年基準排出ガス75%低減レベル*3			平成17年基準排出ガス75%低減レベル*4		
適合規制値または認定レベル値 CO/NMHC/NOx g/km			1.15/0.025/0.013			1.15/0.013/0.013		
車外騒音 規制区分			平成 28年騒音規制			平成 10年騒音規制		
加速/定常/近接			dB		72(規制値)/ - /71 73/68/90			
冷媒の種類/使用量			g		HFC-134a/420 HFC-134a/370			
環境負荷物質削減			鉛		自工会2006年自主目標達成(1996年比1/10以下*5)			
			水銀		自工会自主目標達成(2005年1月以降使用禁止*6)			
			カドミウム		自工会自主目標達成(2007年1月以降使用禁止)			
			六価クロム		自工会自主目標達成(2008年1月以降使用禁止)			
車室内VOC			自工会自主目標達成					

<sup>\*1</sup> 燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。 <sup>\*2</sup> 省エネ法に基づき定められている燃費目標基準 <sup>\*3</sup> WLTCモード走行 <sup>\*4</sup> JC08モード走行 <sup>\*5</sup> 1996年乗用車の業界平均1,850g(バッテリーを除く)。 <sup>\*6</sup> 交通安全の観点で使用する部品(ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスチャージランプ、室内蛍光灯)を除く。